

S. P. エンジニアリング株式会社 ~ エンジニアとして製品開発部門で活躍 ~

【代表者】

代表取締役社長 泉 富栄 氏

【本社住所】 茨城県

日立市旭町2-2-11

【設立】 昭和49(1974)年

【資本金】 1000万円

【従業員数】 40名

男性28名(正規:13名)、女性12名(正規:2名)

うち、外国人1名(男性正規1名)

【事業内容】 製鉄機械設計・製作、原子力関連機器設計・製作
プロセス計装設計・製作、各種省力化装置設計・製作、他各種プラント設計・製作、各種装置据付工事、各種電気工事

【HP】 <http://www.sp-eng.co.jp/>

■インタビュー対応者■

代表取締役社長 泉 富栄 氏

1. 企業概要について

総合エンジニアリング業として製鉄機械、原子力機器の設計・製作、関連機器・装置等の計画段階におけるデザインレビュー、詳細設計、製作、組立、検査、引渡しに至るまでのトータルソリューション及び現地への据付工事、試験運転指導など、客先の要望に応じた幅広いサービスを提供しています。当社は、自社の製造工場を持たないファブレスの開発企業です。協力工場は国内30社程度、海外(韓国、中国)にも5社程度あります。

製鉄機械分野では、圧延に携わる装置・機械等の設計・製作に対応しています。大きなものでは、200トンの大型機器もあります。

原子力分野では、国内の原子力発電所、独立行政法人日本原子力研究開発機構(JAEA)、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構(KEK)などの研究機関など放射性物質を取り扱う環境で使用する重厚長大な遮蔽体・装置類から、小さな部品までを取り扱い、定期点検時のメンテナンス作業など管理区域内における据付等の作業も、当社エンジニアが確実に実行しています。また、近年では、開発品として放射性廃棄物用減溶処理装置等を手掛けており、お客様の裾野を広げるべく、PR活動にも力を入れています。

そして、現在、取り組んでいるものが「知的資産経営報告書」の作成です。「知的資産経営報告書」とは、企業の未来、将来について見える化した報告書であり、2005年に経済産業省からガイドラインも公表されています。「財務諸表」は企業の



過去と現在の通信簿ですが、「知的資産経営報告書」とは企業の未来を表す報告書と言えます。競争力の源泉である人材、技術、技能、特許・ブランド等の知的財産、組織力、顧客とのネットワークなど財務諸表には表れてこない、目に見えにくい経営資源を見える化し、将来の経営方針、計画を記した報告書です。この報告書を、金融機関等への外部向けの説明資料としてだけでなく、社員全員で共有することで、社員のモチベーション向上にも繋げていきたいと考えています。

2. 海外人材採用のきっかけ・時期・受入準備等について

現在、中国人の申さんが活躍しています。研究開発等でも連携している茨城大学で実施された外国人留学生向けの企業説明会の時に、彼と出会いました。申さんは、大企業ではなく、自分のやりたいことが出来る中小企業への就職を希望していました。その説明会后、在学中にインターンシップ生として彼を受入れました。インターンシップ中に上海での商談会で当社が使用する中国語のパンフレットの作成や、実際に上海での商談会にも参加してもらいました。

彼は、母国の大学を卒業後、母国で就職、27歳の時、自分の知識を深めるために日本へ留学に来た大変勉強熱心な人材です。日本語も堪能であり、インターンシップも経験していたこともあり、採用にあたっては受入れ準備は特にしていません。

3. 海外人材の活躍状況等について

申さんは2013年4月に入社後、エンジニアとして製品開発に取り組んでいます。経済産業省の平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等補助金を得て「高齢化社会に適合した高機能無電化自動ドアの試作開発」を行っています。彼はこのプロジェクトにかかる5つの開発案件のうち、1つを担当しています。1つの製品についての設計から試作、協力企業への製造発注、製造支援まで一連の仕事が経験できます。彼は、エンジニアの先輩から指導、助言を受けつつ、意欲的に取り組んでくれています。とても行動力があります。在学中に当社でインターンシップを実施していたので、入社後は特に、新人研修等は実施せず、OJTで育成しています。

4. 海外人材採用ルート及び選考方法について

大学、高専等での採用説明会などへの出席とともに、特に、外国人留学生については、茨城県中小企業と留学生の交流イベントが県内で実施されているので、そうした機会を活用し、国籍に拘らず優秀な人材との出会いを増やしていきたいと思っています。選考方法は書類審査と面談が基本です。インターンシップした方については、活躍ぶりも考慮したいと考えています。

5. 社内全体の人材戦略について

(1) 社内人材の能力を活かす具体的な取組み

業務に必要な知識と技量を養い、現場に派遣する前の教育として、品質保証、設計、生産技術等の専門部署で実務をする社員に対し、専門知識の育成と維持のために、技術アドバイザーが主となり適正な専門教育を行っています。また、必要に応じて公的機関や研究機関等を利用して研修を行い、専門技術の維持向上を行っています。

研修以外の取組みとしては、給与の算出根拠等の社員への公



開です。また、人件費、販売管理費等諸経費など企業活動にかかる経費も全て見える化しています。そうすることにより、社員は原価意識をもって仕事に取り組んでくれます。

営業、経理などの管理部門、設計、品質管理部門がありますが、少ない人数で対応しているので、1人3役以上をこなしてくれています。統計会社が公表している社員1社あたりの平均売上高と比較すると、当社は他企業の2倍以上にもなります。社員全員が付加価値を生み出してくれているといえます。失敗を恐れず果敢に取り組んでもらいたいと願っています。給与は年俸制であり固定給ですが、成果をあげた社員には評価給も支給し、私からの一言メッセージもつけて渡しています。

そして、当社はファブレスの形態であるため、自分で設計した製品を作りあげてくれる協力会社に出向き、目で実物を見ることが非常に大切であると指導しています。普段の仕事の中で実際に、協力会社や納入先などの周囲の人々と積極的に接することで自分の立ち位置が確認できるからです。

モチベーション向上については、社員と経営者の信頼関係をどう構築するかにかかっていると思っています。社員は単に人材ではなく「人材」とであると認識しており、家族と同様と考えています。社員の誕生日にはお祝い金を支給するなど、小さな気遣いも忘れずにしています。また、仕事はもちろんのこと、仕事以外のことなどでも社員から相談を受けるなど、コミュニケーションを常に大切にしています。

(2) 労働制度面等からの支援（休暇制度等の整備状況）

会社負担で社員の医療保険に加入しています。これは、特に独身の若い社員は、自ら保険に入っていないケースも多いため、会社として加入することになりました。また、現在は、出張の都度、保険に加入していますが、国内外への出張も多いため、今後は、一括して出張に係るアクシデントを保証する保険への加入も予定しています。今後も工夫しながら安心して働ける環境を整備していきます。

6. 今後の事業展望と人材戦略（人材確保・育成）について

(1) 今後の事業展望（方向性）

今後は、原子力機器・製鉄機器の二大事業で培われた技術・ノウハウを活かし、自社製品の比率を高めていく方針です。自社製品の開発は、現在も意欲的に進めており、アンチエイジング効果などの抗酸化作用があるといわれている水素水が、水さえあれば、どこでも作れる容器（携帯用水素水生成ポット）と薬剤のセットを他社との連携で開発し、製造販売を始めたところ。家電量販店等で販売していますが、将来的には直接販売も検討しています。また、高機能無電化自動ドアなどの試作開発にも取り組んでいます。現時点では、放射性廃棄物用減容処理装置（特許取得済み）や可搬型オイル・濾過再生装置、水素水生成カプセルなどの自社製品があります。

(2) 人材確保・育成にかかる方向性と課題

2014年3月には日本人技術者1名の中途採用も予定しており、期待しています。自社製品を開発していくためにも、特に若手の活躍に期待しています。

■海外人材の皆様へインタビュー■

【お名前】申 偉東 さん

【出身地】中華人民共和国 山東省 煙台市

【日本での出身学校名等】

国立大学法人茨城大学大学院 理工学研究科 機械工学専攻

○日本に留学したきっかけ：

母国で大学を卒業後、企業に就職していましたが、日本の技術レベルの高さを知っていたので、日本に留学して自分の力を伸ばしたいと思っていました。そこで、退職し、日本の茨城大学大学院へ留学することにしました。

○就職活動方法：

留学生としてだけでなく、実際に日本で働いて日本のビジネスも学びたかったので、茨城大学卒業後、母国に戻らず日本での就職を決めていました。当社との出会いは、大学で開催された企業説明会です。当社は、機械系の会社であり、自分が勉強してきたことを活かし、更に深めることができると思いました。まず、インターンシップに参加し、その後、2013年4月に入社しました。日本語については、中国で勉強しました。日本の番組をテレビで見たりしながら独学で習得しました。

○実際に働いての感想：

実際に企業の一員として仕事をする、色々なことが分かる実感しています。現在、無電化自動ドアプロジェクトの1案件を担当していますが、こちらのプロジェクトに携わることで、製品の製造に係る計画段階から、設計、製図、受注、製作、検査、検収と一連の業務を体験できるので、とてもやりがいを感じています。今後も色々なことを勉強し、学んでいきたいです。

○夢や今後の意気込みなど：

現在、自社製品の開発に取り組んでいるので、会社とともに自分も成長していきたいと思っています。そして、中国で事務所などを開設するなど、ビジネスで中国へ行く機会があれば、喜んで行きます。また、自社製品や製鉄関連、原子力関連においても中国市場への進出などの機会があれば、自分の人脈も活用し、販路開拓したいと考えています。将来は「申さんに仕事を頼みたい」と言われるようになりたいと思っています。今後も当社で自分の技術力を高めていきたいと思っています。

日本は会社も工場も綺麗で住みやすいです。苦勞している点は、やはり日本語で、会話、敬語が難しいと感じています。聞き取れない時もあるので、日本語能力も高めたいと思います。



申さん

泉社長

■経済産業省施策活用実績■

○平成24年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金